

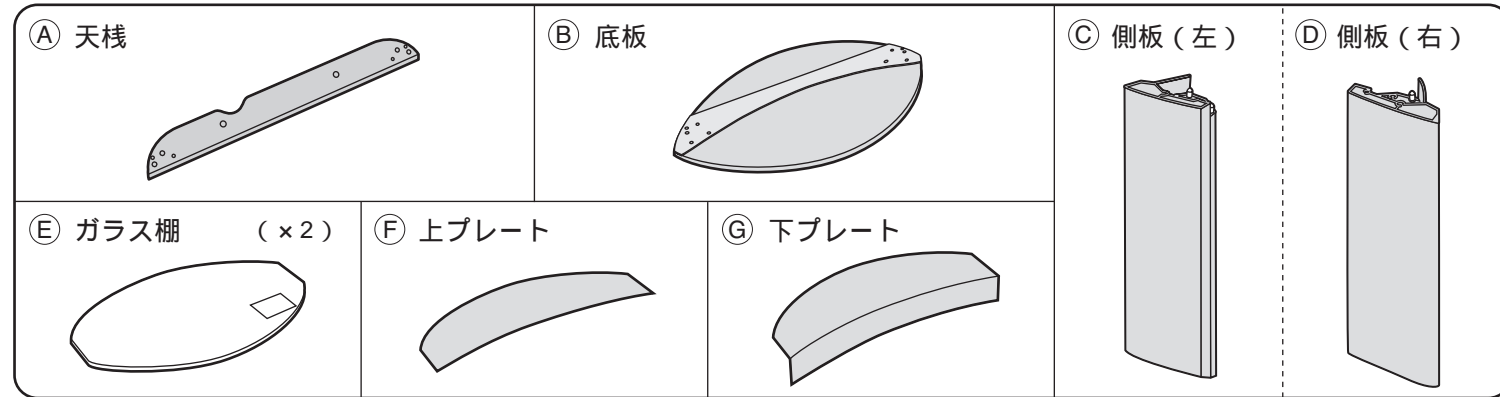
組み立て設置説明書

この組み立て設置説明書は、お客様が大切に保存してください。

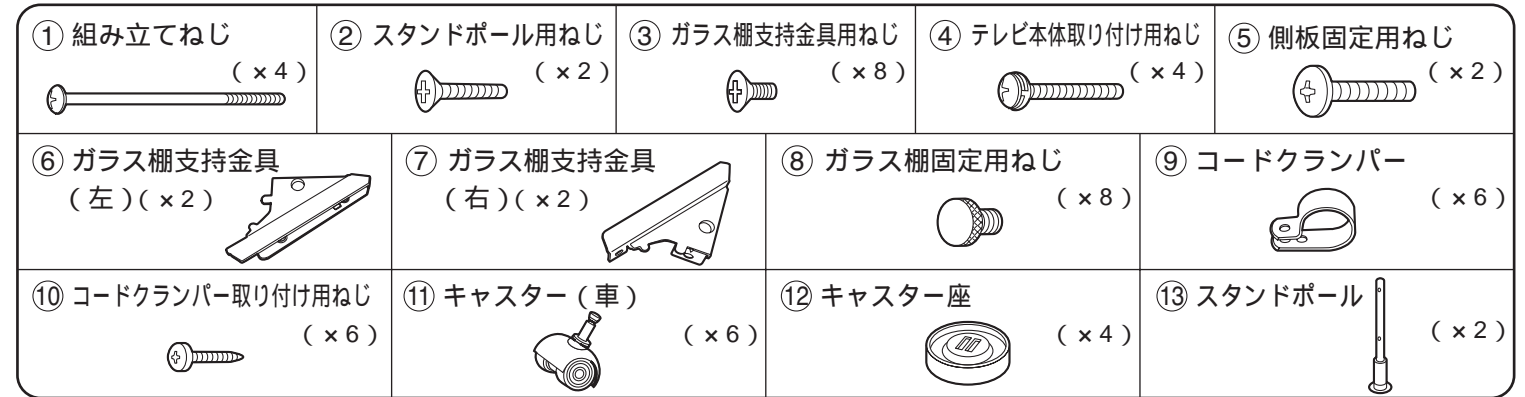
お買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に、この「組み立て設置説明書」、裏面の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

主要部品 組み立ての前に部品の確認を行ってください。



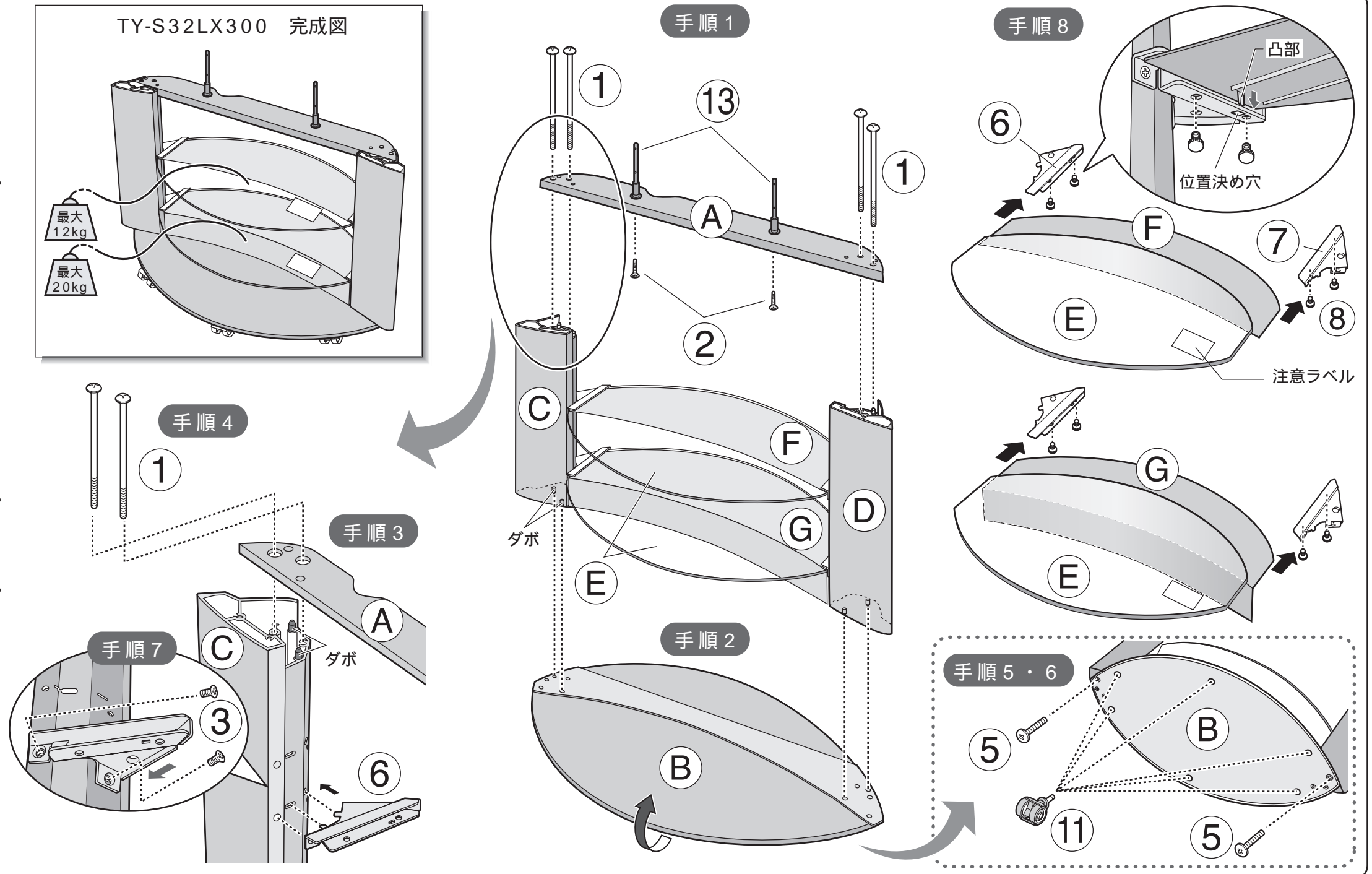
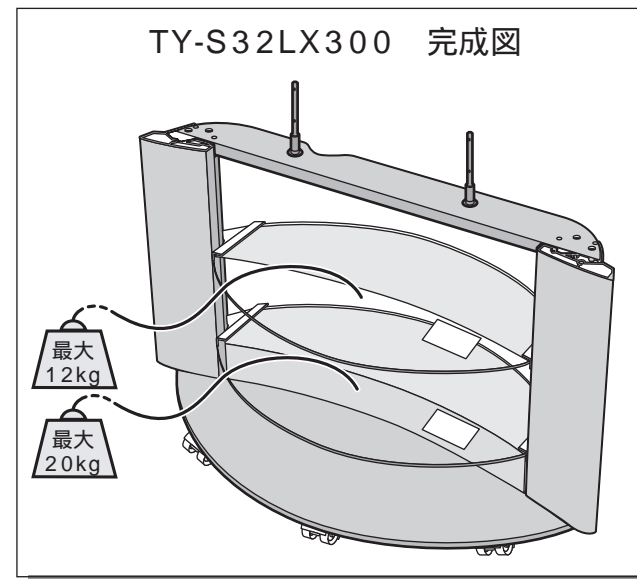
付属部品 組み立ての前に部品の確認を行ってください。



組み立て方法

組み立て手順(組み立て図参照)

- 手順 1** 天棧(A)にスタンドポール(13)(2本)をスタンドポール用ねじ(2)(2本)で取り付けてください。
- 手順 2** 側板(左(C)右(D))のダボを底板(B)に差し込んでください。
- 手順 3** 天棧(A)を側板(左(C)右(D))のダボに合わせて差し込んでください。
- 手順 4** 組み立てねじ(1)(4本)で天棧(A)・側板(左(C)右(D))・底板(B)を取り付けてください。
手順 5、6 は底板裏面から取り付けてください。
- 手順 5** 底板(B)と側板(左(C)右(D))を側板固定用ねじ(5)(2本)でしっかり取り付けてください。
(注) 側板固定用ねじ(5)がないと強度不足となりますので確実に固定してください。
- 手順 6** 底板裏面にキャスター(車)(11)(6個)を差し込んでください。
- 手順 7** ガラス棚支持金具(6)(7)をガラス棚支持金具用ねじ(3)(8本)で取り付けてください。
金具は(左(6)右(7)各2個)上段下段共用になっています。取り付け位置上段は、2段階に調整できますので収納機器の高さに応じて取り付けてください。
- 手順 8** ガラス棚の取り付け
 - ① 上下プレート(F)(G)を平行に奥まで差し込んでください。
 - ② ガラス棚支持金具(6)(7)の位置決め穴にプレート裏面(左右)凸部を合わせて、はめ込んでください。
 - ③ ガラス棚(E)の注意ラベルを(右)手前にし、プレートと平行に奥まで差し込み、ガラス棚固定用ねじ(8)(8本)で取り付けてください。



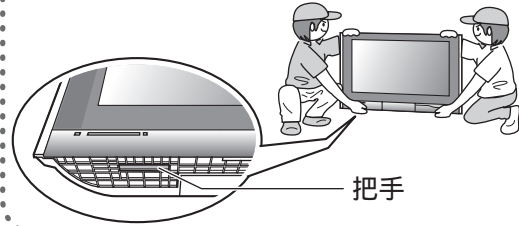
設置方法と設置後のお願い

1 テレビ本体の設置と固定方法

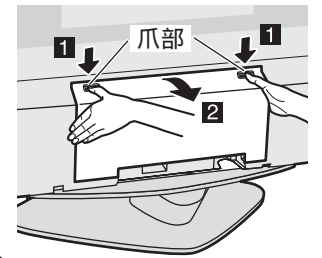
設置作業は指詰めや腰をいためないように注意してください。

- 1 テレビ本体後部の端子カバーを外してください。
- 2 テレビ本体のテレビスタンド固定ねじ(4本)を外してください。
- 3 テレビ本体を垂直に持ち上げテレビ台のスタンドポールに差し込んでください。
- 4 テレビ本体取り付け用ねじ④(4本)でテレビ本体とテレビ台をしっかり固定してください。

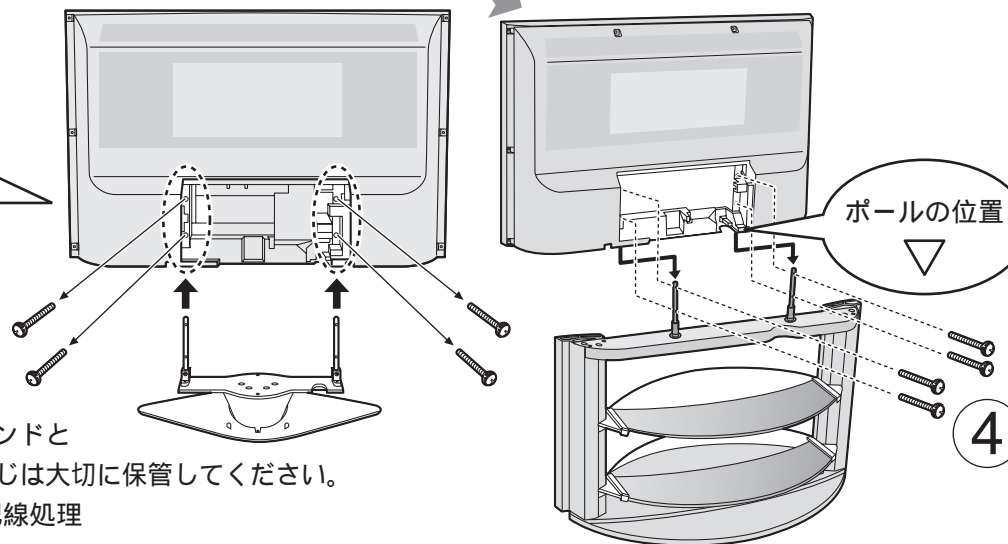
イラストで示す左右の把手部分に手をかけて設置してください



爪部(2箇所)を同時に押えながら端子カバーを取り外してください。



取り外したテレビスタンドとテレビスタンド固定ねじは大切に保管してください。



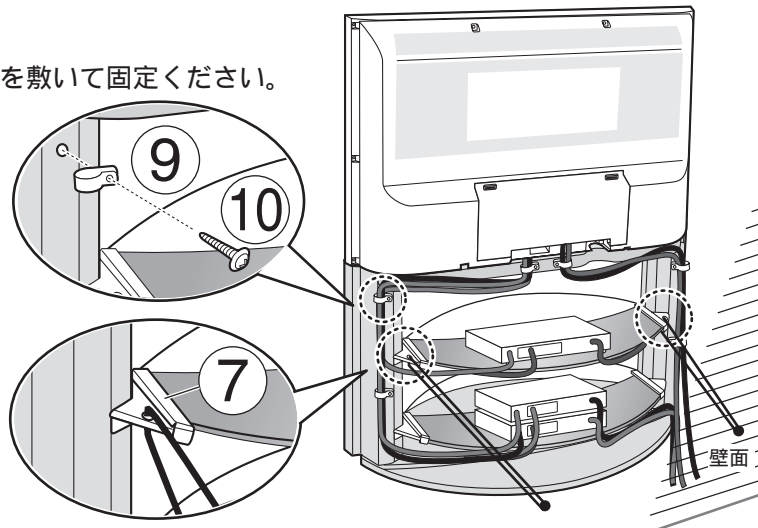
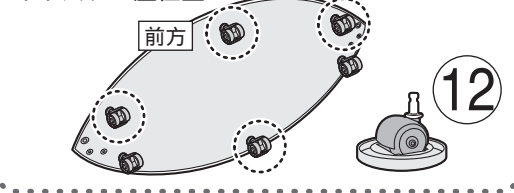
2 テレビ本体・収納機器の配線処理

- 1 ガラス棚に収納機器(DVDレコーダー・VTR等)を載せてください。録画機器は下段に設置してください。(上段に載せると映像に障害が出る場合があります。)
- 2 収納機器とテレビ本体の配線処理を行ってください。
- 3 配線処理はコードクランパー⑨(6本)とコードクランパー取り付けねじ⑩(6本)を使って行なってください。
- 4 端子カバーを取り付けてください。

3 キャスター座の使い方

全ての作業の後でキャスター座⑫(4個)を敷いて固定ください。

キャスター座位置



4 転倒防止について

ガラス棚支持金具⑥⑦上側(左右)の穴に丈夫なひもや鎖など市販品を使って壁や柱など堅牢部にしっかりと固定してください。

取り扱い上のお願い

- 1 直射日光に当たったり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形することがありますのでご注意ください。
- 2 お手入れについて
乾いた布でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。
なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはげたりしますので、使用しないでください。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
- 3 粘着性のテープやシールをはらないでください。テレビ台表面を汚すことがあります。

イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

注意 (Warning icon) このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
禁止 (Prohibition icon) この絵表示は、してはならない「禁止」内容です。
指示 (Mandatory icon) この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

注意

カタログに記載されているテレビ以外には、使用しないでください

禁止 (Prohibition icon) テレビ台に載せられる総質量(テレビ本体の質量+ガラス棚に載せる機器の質量)を越えて長期間使用されずと破損してけがの原因となることがあります。ガラス棚上段は12kg、下段は20kgを越える機器を載せないでください。

禁止 (Prohibition icon) ガラスを傷つけたり、衝撃を与えないでください。ガラスは強化ガラスです。使い方を誤ると割れる恐れがあり、けがの原因となることがあります。鋭利なものや、尖ったものなどで傷をつけないでください。強化処理をしたガラスは、傷が入った状態で長期間ご使用になりますと、傷が進行し自然に破損することがあります。傷が入った場合は、販売店に相談して、新しいガラスと取り替えてください。

テレビ台に乗ったり、踏み台代わりに使用しないでください

禁止 (Prohibition icon) 倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。(特に小さなお子様にご注意ください。)



万一、テレビ台やガラスに変形・ひび割れ・割れが起こった場合は、使用しないでください

禁止 (Prohibition icon) そのまま使用すると倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。すぐに販売店へご連絡ください。

キャスター(車)には注油しないでください

禁止 (Prohibition icon) キャスター(車)のひび割れ・破損の原因となり、倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

湿度の高い場所では使用しないでください

禁止 (Prohibition icon) 長期間の使用では、そり・変形などが発生し、強度低下を招くことがあり倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

組み立て時、ねじ止めをする箇所は、すべてしっかりと止めてください。また、裏板や仕切り板(補強板)は確実に取り付けてください

指示 (Mandatory icon) 不十分な組み立てかたをすると強度が保てず、倒れたり破損してけがの原因となることがあります。機種によっては、裏板や仕切り板(補強板)のない台もあります。

水平で安定した所に据えつけてください

指示 (Mandatory icon) 倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。キャスター(車)を使用される場合は、全てのキャスターを確実に取り付け、キャスター座で止めてください。不安定な場所ではキャスターをはずしてください。(畳や毛足の長いじゅうたんなど)

移動させるときは、キャスター座を取り除いてから、移動させてください

指示 (Mandatory icon) 倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

テレビは転倒防止の処置をしてください

指示 (Mandatory icon) 地震やお子様がよく登ったりすると、転倒しけがの原因となることがあります。

テレビ設置時に、指をはさまないようにご注意ください

指示 (Mandatory icon) けがの原因となることがあります。
指に注意

松下電器産業株式会社
映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒567-0026 大阪府茨木市松下町1番1号

—パナソニックお客様相談センター—
電話 フリーダイヤル ☎ 0120-878-365
FAX フリーダイヤル ☎ 0120-878-236
365日/受付9時~20時